



沖ノ島の黒曜石

『新修宗像市史』原始・古代部会より

ヤマト王権以前の沖ノ島

原始・古代部会は、主として紀元前数万年の旧石器時代から縄文・弥生・古墳時代、そして奈良・平安時代までの大変長い期間を対象としています。そして、それぞれの時代の遺跡や出土品の情報や古代の文献などから歴史像を構成していきますが、宗像地方には特色のある遺跡が大変多いといえるでしょう。今回は、縄文時代の石器についてです。

玄界灘に浮かぶ沖ノ島では、ヤマト王権の主導のもと4世紀後半〜9世紀末頃の約500年間にわたって祭祀(さいし)が行われていました。世界遺産を目指す「神宿る島・沖ノ島」の価値はまさしくそこにあります。ところが、もっと古い時代にも沖ノ島で人が活動していた痕跡があるのです。

黒曜石の産地と種類

縄文時代の石器類のうち黒曜石の石鏃(せきぞく)などについては、白っぽい乳白色のものは大分県姫島産とされ、黒いものも幾つかの産地が想定されています。

今回、新しい市史編さん

沖ノ島では、旧社務所前遺跡などから縄文土器、弥生土器、土師器(はじき)の他、打製石鏃(せきぞく)や石斧(おの)、磨石(すり

黒曜石の産地が知られては、白っぽい黒曜石が佐賀・長崎県境の多良岳山麓でも産出することが分かっています。

沖ノ島や宗像市域に黒曜石の産地は知られていません。沖ノ島出土の黒曜石の原産地はたしてどこなのでしょう。

黒曜石に限らず、すでに知られていた遺跡・遺物についても、最新の調査研究成果をもとに再検討、再調査などを行うことで、新たな知見が得られたり、通説が修正されたりすることがあります。新しい市史で

に関連して再度石器類を点検してみました。すると、白い黒曜石にも色合いの異なる種類があり、また、黒いものにも漆黒色や鈍い色調のものなどがあることに改めて気付かされました。

黒い黒曜石は佐賀県伊万里市腰岳が有名ですが、ほかに長崎県佐世保市の針尾島や平戸市の度島(たくしま)などの産地が知られています。そして最近では白っぽい黒曜石が佐賀・長崎

再調査で新たな発見も 宗像大社の協力を得て、黒曜石の産地分析を試みました。石器を壊すことなく、蛍光X線を照射することで産地を特定する「蛍光X線分析」という調査です。

宗像周辺の縄文人たちは各地の黒曜石産地にどのように関与し、また石材はどのように流通していたのでしょうか。分析結果が楽しみです。

黒曜石に限らず、すでに知られていた遺跡・遺物についても、最新の調査研究成果をもとに再検討、再調査などを行うことで、新たな知見が得られたり、通説が修正されたりすることがあります。新しい市史で

はそういった成果も盛り込んでいきたいと考えています。(原始・古代部会長 伊崎俊秋)



沖ノ島出土石鏃

問い合わせ先 郷土文化課 ☎(62) 2600

市から

市民文化・芸術活動 審議会委員募集

- 委員の役割 市文化芸術のまちづくり10年ビジョンの進行管理、宗像市文化芸術活動事業補助金審査など
- 任用期間 4月の任用日から2年間
- 年に4回程度開催
- 応募要件 20歳以上の市民か、市に通勤・通学している人
- 募集人数 1人
- 採用 書類選考で決定
- 申込締切日時 3月7日(火)午後5時必着
- 申込方法
 - 郵送 ①住所②氏名③年齢④電話番号(日中、連絡ができる番号)⑤市外在住の場合は勤務先が学校名を明記し、⑥「あなたの考える文化芸術によるまちづくり」をテーマに400字詰め原稿用紙1〜3枚程度にまとめたものを添えて(〒811-3492住所不要)文化スポーツ課市民文化係「市民文化・芸術活動審議会委員申込係」あて
 - FAX (36) 0270
 - Eメール bunkasports@city.munakata.fukuoka.jp

寄贈してください こんな本

市民図書館では、最近話題になった本や予約が多い本の寄贈を受け付けています。読み終わった後に不要になることがあれば、図書館へ寄贈をお願いします。多くの市民に利用してもらえるように活用します。

問い合わせ先 図書館 ☎(37)1321

書名	著者名	出版社
「恋のゴンドラ」	東野 圭吾	実業之日本社
「コンビニ人間」	村田沙耶香	文藝春秋
「危険なビーナス」	東野 圭吾	講談社
「九十歳。何がめでたい」	佐藤 愛子	小学館
「雪煙子フェイス」	東野 圭吾	実業之日本社
「蜜蜂と遠雷」	恩田 陸	幻冬舎
「慈雨」	柚木 裕子	集英社
「三鬼」	宮部みゆき	日本経済新聞出版社
「i」	西 加奈子	ポプラ社
「沈黙法廷」	佐々木 譲	新潮社

*雑誌、百科事典の寄贈はお断りしています
*寄贈してもらった本は必ず書架に並ぶとは限りません

ふるさとの民話 お話し会



平成24〜27年度に市が主催した宗像の民話講座の講座生が、ふるさと宗像の歴史や民話を語り伝える活動を始めました。民話の舞台になった場所を訪ね、民話の背景を学んでいます。一年間の活動の締めくくりとして、民話のお話し会を開催しますので、ぜひ来てください。



昨年度の発表会「わらべうた」の様子

- 日時 3月4日(土)
- ▽開場=13:15
- ▽実施=13:30~15:30
- 会場 海の道むなかた館・講義室
- 内容
 - ▽第一部「民話の背景にある歴史を学ぼう」
 - ▽第二部「民話やわらべうたの紹介」
- 対象 宗像の歴史や民話に関心のある、小学校高学年以上の人
- 定員 先着50人
- 参加料 無料 *当日13:00から会場前で整理券を配布
- 主催 ふるさとお話し会のむなかた
- 問い合わせ先 ふるさとお話し会のむなかた(田中) ☎080(5265)4777



「ふるさとお話し会のむなかた」では、随時会員を募集しています。一緒にふるさとの民話を語り継いでいきましょう

問い合わせ先 文化スポーツ課 ☎(36) 1540

医王院 宗像市認可霊園 宗像聖地霊園

当霊園は宗旨、宗派を一切問いません。承継者がいない方でも安心して申し込みます。●所在地:福岡県宗像市田島2211番地 ●交通:西鉄・宗像大社前バス停徒歩10分 ●経営許可番号:18宗環第86号

お申し込みお問い合わせは ☎0940-62-1566

永代供養相談受付中



墓地代(永代使用料)1区画 1.8㎡ 144,000円 2.35㎡ 188,000円 3.3㎡ 264,000円 ※表示は管理費抜きの価格です。

